

赤潮・貧酸素情報（２）

令和２年７月２０日

各漁業協同組合長 殿

福岡県水産海洋技術センター
豊前海研究所長

７月２０日（月）に全域調査を行った結果、海域の中部～南部の沿岸域を中心に酸素濃度の低下が依然確認されました。

前回の７月１７日（金）に比べると改善傾向が見られます。

＜貧酸素の状況＞

○宇島地先から吉富町にかけてと、行橋市南部の沿岸域の底層では依然酸素濃度が50%を下回っています。（図１）※貧酸素時の酸素濃度の基準（酸素濃度 30%以下）

○南部沿岸域と人工島西側では塩分濃度の低下が見られ、７月７日（火）の調査時より低塩分の範囲が拡大しています。（図２）

＜今後の対応＞

○今後の天候や海況によっては、拡大することもあります。

○漁獲物の出荷（活け間の中）には十分注意して下さい。

○研究所では引き続き調査を実施しますので、今後の情報にご注意下さい。

※漁業被害、海面の着色などがみられましたら、

豊前海研究所(0979-82-2151、担当:恵崎、後川)までご連絡下さい。

7/20 漁場調査結果

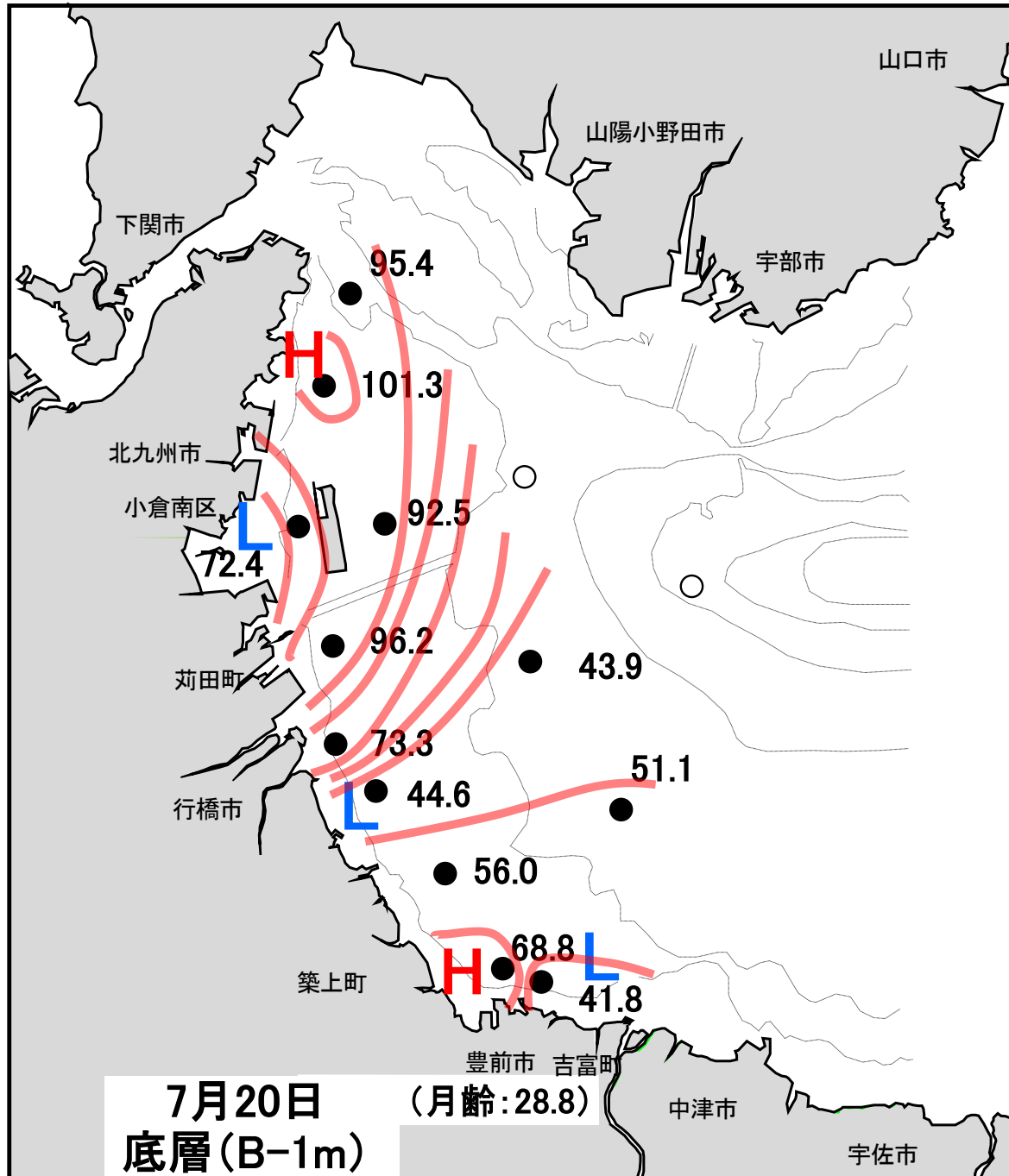


図 1 各調査点の底層の酸素濃度 (%)

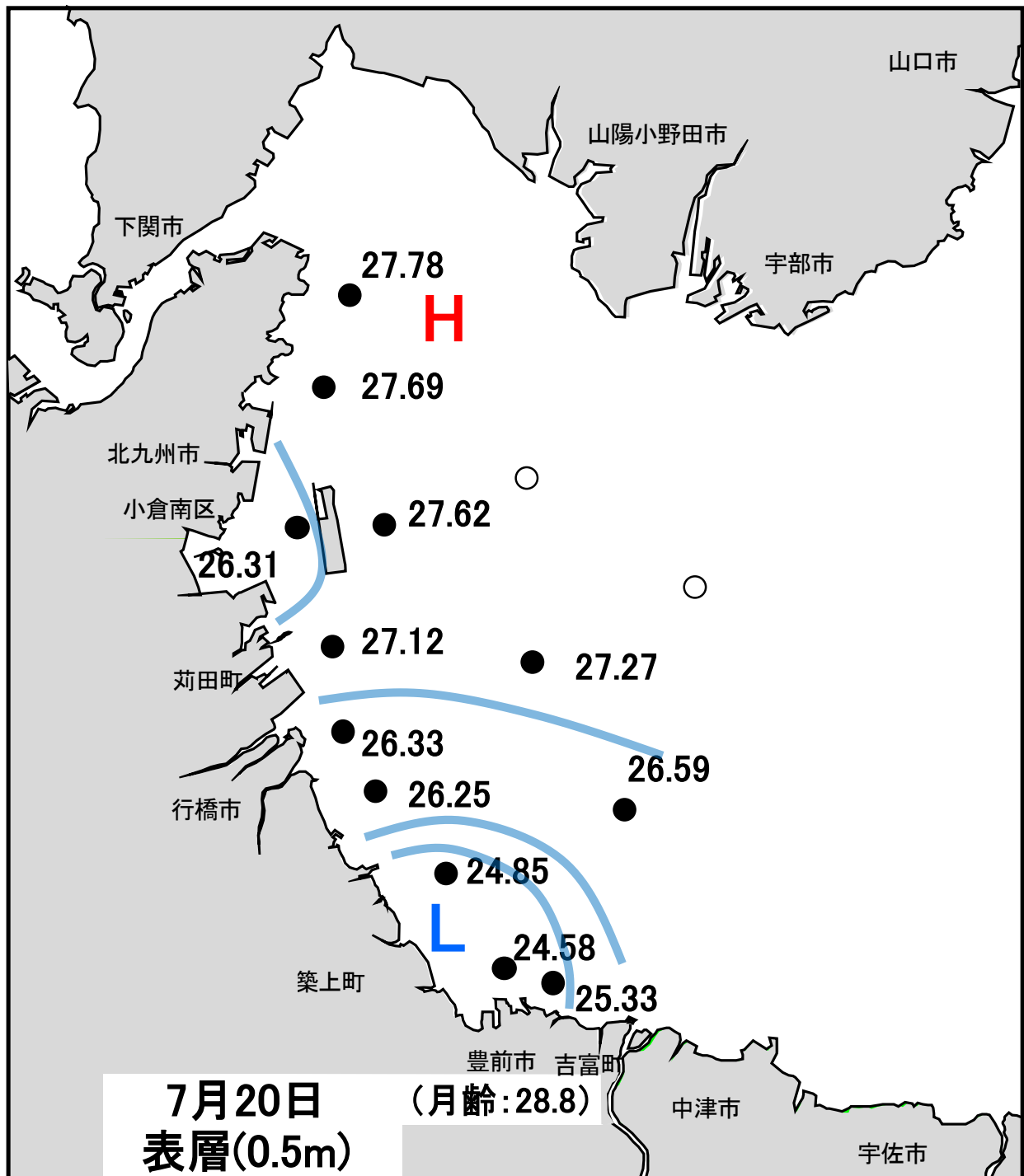


図2 各調査点の表層の塩分濃度